

事務事業名		学力向上推進事業				<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	豊かな人を育むまちづくり				所属課	学校教育課	担当	学校教育
	施策名	教育推進体制の充実				課長名	手塚 健一	担当者名	八木澤孝行
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名		
		一般	9	1	2		関係法令・条例等		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H28 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		1 事務事業概要 全児童生徒を対象に、学力(基礎基本並びに活用力)や学習意識の傾向を把握し、より効果的な学習指導の方法を検討、実践することにより、総合的な学力向上を図る事業である。 2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 1)総合学力調査(町独自の中間評価) 小1~中2 685人×350円×2教科=479,500円 2)学力向上サポート貸金 2名×1,300円×2h×年間35回×3小学校=546,000円 計 1,025,500円≒1,026千円							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)										
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 総合学力調査(町独自の中間評価)の年間実施回数 小学校児童学力向上サポート回数		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>実施回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td>各校ごとのサポート回数</td><td>回</td></tr> </table>		名称		単位	ア	実施回数	回	イ	各校ごとのサポート回数	回
名称		単位										
ア	実施回数	回										
イ	各校ごとのサポート回数	回										
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 在籍児童、生徒(小1~中2)		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>在籍児童数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>在籍生徒数</td><td>人</td></tr> </table>		名称		単位	ア	在籍児童数	人	イ	在籍生徒数	人
名称		単位										
ア	在籍児童数	人										
イ	在籍生徒数	人										
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 児童、生徒の学力の向上		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>前年比向上率</td><td>ポイント</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	ア	前年比向上率	ポイント	イ		
名称		単位										
ア	前年比向上率	ポイント										
イ												

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 実績値	回		1	1	1	1
	イ	目標値 実績値	回		35	35	35	35
対象指標	ア	目標値 実績値	人	531	519	503	495	490
	イ	目標値 実績値	人	311	307	288	270	265
成果指標	ア	目標値 実績値	ポイント			1	1	1
	イ	目標値 実績値	0					

計画		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度	
事業費 投入量	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円			1,026	1,020	1,000	990
	事業費計(A)	千円	0	0	1,026	1,020	1,000	990
人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1
	延べ業務時間	時間			20	20	20	20
	人件費計(B)	千円	0	0	80	80	80	80
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	1,106	1,100	1,080	1,070

実績		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町立学校の児童、生徒が対象	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	学力の未定着な児童生徒が増加傾向にあるため、早急な対応が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	他の学力調査費用等を参考に算出。 2教科の実施は最低数と判断。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	特定の児童、生徒を対象とせず、全ての学校、児童、生徒を対象としている	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 29 年 6 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業